

一筆啓上

作左通信



第十七号 平成十五年六月三十日(月)発行

すばらしい晴天のもと、四月二十九日に「一筆啓上作左の会」の総会が、およそ五十人の参加をいただき、六ツ美西部学区市民ホームで開催されました。

会長の永田さんのあいさつの後、平成十四年度の事業報告と決算報告を行いました。議事の中でいくつか質問やご意見をいただきました。

まず、「ふるさと読本は、どのような内容になるのか。」という質問がありました。この本については、

編集委員が各町で選出さ

れていて、六ツ美西部の歴史だけでなく、昔からこの六ツ美にいらつしやる方から、お話を聞いた内容をまとめるなどして、後世に

残していきたいと考えています。また、「作左の会の活動をもう少し、みなさんに分かるようにしていただきたい。」というご意見もありましたので、これから、広報活動等を充実させていきたいと思えます。

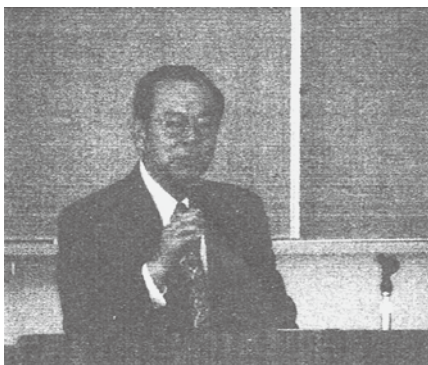
本年度については、これまでの「作左通信」の発行

や「ふるさと読本」の資料

収集、調査などを継続することに加え、新たに「ふるさと賞」の立ち上げや来年度、家康行列に本多作左衛門チームとして参加することなどを計画しています。これからしっかりと練習していかなくてはなりません。が、「ふるさと賞」については、福井県丸岡町の「日本一短い手紙」、茨城県取手市の「頑固者賞」など、本会と交流している地域の活動を参考にしていきたいと思っています。さらに、三地域をネットワークし、「作左サミット」を開くことも考えられています。

いずれも、この地域がより活性化するために取り

組んでいこうとするものです。総会での貴重な意見を、今後の活動に生かしていきたいと思えます。そして、「作左のふるさと」であるこの六ツ美西部学区をよりすばらしい町になるよう、皆様とともに頑張っていきたいと思えます。一人が、六西学区の「町応援団」でありたいですね。



—あいさつされる会長の永田さん—